

東照宮

台徳院殿

大猷院殿小結うまつし寛永法納戸

番込つとめ寛永十年二月二百石と加へ

らまゝ廩米と米地小改めらまゝ常陸

國行方郡の内とつと四百石とたまふ家譜

同二十年九月清天守番頭小とらふ

法日正保元年四月廿二日とらふ五十三と

して死ひ法名と紹光といふ其子新

五郎廣房いん寛永十二年十二月大番に

列は時小十四歳より家譜正保元年十二

月遺跡とほく法日記○按てらふ小寛永譜に

とありしと光廣と廣房と六同人なりと云ふと家譜に

詳らふといふと今家譜に信ふ今の小番清石野彌右衛門

廣政り祖より

新十郎正雄きよたけハ新藏廣光の三男なり

とらふと云ふ廣政といふ

東照宮小姓之まつりせ小十人と勤光

後大番子列々寛永八年甲府小十とい

死し

按るる小甲府小十といふは駿河大納言忠長卿小附属せり故に家傳不詳なり

其子傳八郎正數ハ實ハ永井新八郎尚

改ら二男なり正雄小養子

按るる新十郎正雄姓名

寛永譜小載せりまゝ寛永譜に新藏廣光ハ末男小傳八郎正良といふはのあり家傳にハ正良姓名ありまゝ其事實蹟傳八郎改數といふは同人ありて正良後子正數と改めらるるはまゝ按るる小正雄ハ忠長卿小附属せりまゝ寛永八年甲府小十といふは家傳にハ後正雄ハ父新藏廣光といふことありまゝ永井尚改ら二男といふ

て正雄ハ名跡とせんことと清奉とたるものありて廣光ハ清光とありて寛永譜廣光ハ末男といふは家傳にハ正雄ハ現在の養子のまゝと記せりありてまゝと推考して跡目の年代等詳なりまゝハありて正小の考とあり

台徳院殿とよひ

大猷院殿とよひ之奉つ小十人小列

後大番とあり采地二百石と賜ひ寛永

十年二月二百石と加へまゝ都て四

百石の禄とあり家譜同し此二十年十月

新番小轉しんぱんせうてんより其子五郎ごらうを湯正積ゆさだつの廣

安二年十二月より大番小列おほいばんせうりつの向日記○  
今の番

石野清二郎  
善明の祖なり

忠右衛門しゅうゑもん廣英ひろひでの新藏廣次しんざうひろつぐなより二男あり

寛永かんゑい譜 寛永十二年十二月めさまで大番

に列りつし廩米二百俵と賜たまはし後法書院

番に轉まり家譜○今の西城法書院番  
石野忠右衛門廣澄の祖なり

### 石野

七郎左衛門しちらうざゑもん中原廣之ひらなかひろゆきの二右衛門廣長ひろながより

二男あり寛永九年八月よりめさ

大猷院殿おほたくゐん小中せうちゆうよりえ奉たてまつり寛永 十じゅうより

召めいすより小十人小列せうじゅうにんせうりつより廩米百俵とた

ままひ家譜同十八年四月西城小波せいはりせ給たまはひ

還清へんせいの時あやまよりて法供ほふく小せうとま

よりより六法勅氣ろくほふくと並ならり家祿けいりく儀